



いのぼ～の彼女

# 伊野-INO-

～やって未来こい！  
いの

ENO暮らし2030～



いのぼ～

発行：伊野コミュニティセンター

〒691-0072 出雲市野郷町 492-5  
Tel: (0853) 69-1526 Fax: (0853) 69-1530  
E-mail: ino-cc@local.city.izumo.shimane.jp

伊野コミュニティセンター  
ホームページ



伊野地区自治協会  
ホームページ



伊野地区自治協会  
Facebook



伊野地区情報発信部会  
Instagram



一伊野地区の人口—  
(R6.2月末現在)

男性… 561人  
女性… 602人  
合計… 1,163人  
世帯数… 418世帯

## 12名の卒業生へエールを！ 3/19 卒業おめでとう！！



3月19日、伊野小学校にて卒業式が挙行されました。今年度の卒業生は12名。卒業生は在校生・教職員・保護者・地域の皆様に祝福され、6年間過ごした学び舎をあとにしました。4月からはいよいよ中学生。伊野小で過ごした6年間の思い出を胸に、周りの人への感謝の気持ちを忘れずに中学校でも頑張ってください。またコミセンにも寄ってくださいね。



### プチわく！ ゆるっとおしゃべり会 おしゃべりひろば

参加者延べ122名

8/27

10/29

1/14

小学生・未就学児のお子さんや、保護者の皆さんが「ゆるっと」集まれる場づくりとして「プチわくわくひろば ゆるっとおしゃべり会」を8月と10月に開催しました。参加人数は少なかったものの、初めてコミセンに来てくださる方や、2回とも参加して下さった方など、参加者の皆さんに喜んでいただきました。

1月には、まちづくり団体ino.tiの皆さんと一緒に、集まれる場づくりをしたい！とお互いに同じ思いの中、イベント「家族のじかん」を開催しました。子どもも、大人も、それぞれの時間を楽しみながら参加者同士交流をしておられました。

「ゆるっと」「楽しく」「集まれる」場づくりを、来年度も作っていただきたいと思います。皆さまのご参加をお待ちしております。

(コミセン自主企画事業 子育て支援部)





# やって未来こい!通信

続報

14名受入

## 2/27 広島県呉市安浦地区視察団来訪

伊野のまちづくりについて学びたいと呉市安浦地区の皆さんが視察に来られました。はじめに未来こい!ネット事務局長の多久和祥司さんより説明があり、続いて農水部会長の常松守男さん、教育部会の兼折治加さん、交流部会長の多久和秀政さん、地域おこし協力隊の朝枝隊員よりそれぞれの活動について発表され、意見交換を図りました。また、午後は暮らしアトリエさんの発表もあり、互いに学びと交流を深める良い機会となりました。



3名受入

## 3/5 香川大学視察団来訪

小学校を核とした地域づくりについて参考にしたいと香川大学より視察に来られました(写真最前列3名)。未来こい!ネット事務局長の多久和祥司さんより伊野のまちづくりと教育について説明を聞かれた皆さんは大変興味関心をもたれたようでした。また、食文化研究の参考にしたいと和の会の皆さんと佐藤敏子さん(西地合)が伊野の伝統食であるいがもちや地合で採れたアカモクを使った汁などを提供。まちづくりと食文化について意見交換を図りながら交流を深められました。



7名受入

## 3/13 雲南市大東町春殖地区視察団来訪

地区住民を「やってみらいこい」と前向きに一つの方向に向けさせた合意形成の手法や交流人口・関係人口拡大の効能などについて知りたいと春殖地区の皆さんが視察に来られました。垂水邸にて未来こい!ネット事務局長の多久和祥司さんより説明があり、その後意見交換を行い交流を図りました。



2/1 2/23 3/1 参加者延べ78名 講師 島根大学教育学部教授 作野 広和 先生

### まちづくりセミナー開催

やって未来こい!ネットの活動が中間点を迎え、今一度伊野の未来をみんなで考えようと3回にわたって集中討論会を開催。作野教授にご助言をいただきあさつての伊野(2040年)を見据えたあしたの伊野(2030年)について縮充を踏まえて互いの意見を出し合い議論しました。



2ヵ月毎 参加者延べ60名 教育部会

### シニアのスマホ教室

講師 山中のえん 氏

昨年に引き続きシニアの皆さんを対象にスマホ教室を開催。今年度は2ヵ月に1回のペースで開講し、写真の撮り方やLINEの使い方、YouTubeの見方やQRコードの読み取り方などを教わりました。そして、日常の様子を写真に撮り会員同士グループLINEでやりとりするなど、習ったことをすぐ実践しスマホを使いこなしておられました。これからわからないことをちょっと聞いてみたい、そんな悩みにこたえていけたらと思います。どなたでもお気軽にご参加ください。



4月~9月 参加者延べ30名

## シニアまちおこし隊 ヘチマ水づくりに挑戦!

耕作放棄地の活用とシニアのパワーで伊野を元気にしたい、そんな思いでシニアまちおこし隊を結成し、ヘチマ水づくりに挑戦。種蒔き、苗植え、草取り、草刈を経ていよいよヘチマの収穫。初めて食べるヘチマの味に一同感激。大きくなったヘチマはタワシとして活用し、最後は茎からヘチマ水を抽出し、無添加無農薬の天然ヘチマ水を採取しました。ヘチマ水は肌荒れ防止、保湿に効果があるそうです。一同はヘチマの魅力をもっとアピールしていきたいとさらに意欲が増したようです。今後の活躍も楽しみです。(代表 兼折 治加)



地域おこし協力隊  
あさ えだ しょう こ  
★ 朝枝尚子 さん  
★ 連載 -第9回-



朝枝@協力隊の  
出雲伊野暮らし

【島根県森林インストラクター養成講座レポート】

昨年の6月から島根県主催の森林インストラクター養成講座を受講しました。今回は紹介と振り返りかねてレポートしてみようと思います。

森林が県面積の約80%を占める森林県島根。世界農業遺産にも申請されている「たたら製鉄由来の棚田農業」は人が森林を利活用してきた関りの歴史でもあります。そのためなのかどうなのか... 島根の森林インストラクター養成講座は歴史も古く、現講師陣の熱量もかなり高いです。講座は6月、10月、翌年2月の全3回×2日、計6日かけて開催されます。内容は森に関わるエトセトラ。樹木、草花、鳥、動物、危険生物、竹の活用、林業、草刈り機、チェーンソー、きのこ、巣箱作り、棒パン、炭焼き...。各分野の専門家も入っていたり、毎回、幅広く盛りだくさんの講座内容です。

自然保護というとどんなイメージですか?人が入ると自然が壊れる?木を切るのはいけないう事?山は危ないの?いえいえ、日本の森林率は世界第2位。放っておいても草や木が育つ豊かな国です。森の木は使ってこそなんぼ!!森は遊び場であり生活の場!!それが森林県島根の人と森との付き合い方なのだと思ひ直しました。

※国立公園、国定公園、県立自然公園内での植物の伐採や採取は禁止されています。



きのこ学習

## 和ハーブのスヌメ 3月【植物の生存戦略】

気温も暖かくなり、心身ともにふわりとほぐれるような季節になりました。植物たちが準備万端でこの時期を待つのにあわせて、人にとってもワクワクソワソワする季節。色々な魅力を持つ植物の世界ですが、今回は植物たちの生存戦略について書いてみようと思います。

根を下ろしたら最後、基本的には動くことが出来ない植物たちは、それぞれが独特の生き残るための工夫をしています。例えば長い冬の間、野山では木に残る赤い実がよく目につきます。ナンテン、センリョウ、アオキ、モチノキなどなど。それらは鳥たちの食料になっています。視力の弱い鳥には赤い色がアピール。鳥の口に合わせると丸く小さな形に。木の口に長くともって長い期間食べてもらう。そんな実はいがい香りもなく味もたいして美味しくなく、香りに鈍感な鳥によい香りは無意味だし、美味しくてその場でたくさん食べられてしまうと種が遠くに運ばれない。こうして鳥たちに食べてもらい、親の木から離れた場所で種を落としてもらう。しかも肥料付きで。

かわいらしい実の裏にあるしたたかでカラフルな植物の生存戦略。そんな目線で自然を観察すると、また違う楽しみが増えるのではないのでしょうか。



ナンテン



# 第2回 いのeスポーツ小学生交流大会

参加者19名

1/21

(コミセンスポーツ部 および未来こい!ネット 交流部会合同企画)



毎年冬には雪遊びなどで交流している赤名の子もたちと、今年オンラインで交流を図ろうと伊野コミセンに集まった伊野小児童19名と、赤名公民館に集まった赤名小・来島小・頓原小・志々小の児童13名がインターネットを通じて互いの映像を映し出し、オンラインによるeスポーツ体験会を行いました。初めに自分たちで考えた地域の良い所を紹介し合い、それぞれの地区の特徴や自分たちの住む地域との違いについて学びました。その後、いのっ子対赤名っ子でスイッチ



(スポーツ部・交流部会長 多久和 秀政)

のスマッシュブラザーズで対戦をしました。会場は離れていてもゲームを通して子どもたちは仲良くなったようで今度は直接会いたいと話していました。今後もICTと地域の資源を活用しながら新しい活動を展開していきたいです。ご協力いただいた島根県eスポーツ連合の皆さま、赤名公民館の皆さま、ありがとうございました。



多久和啓吾くん(三ノ谷)



佐藤 旭くん(西地台)

# 手づくりみそを仕込む会

参加者16名

1/30



手づくりみそで作る味噌汁の味は格別。毎日食べるものだから、おいしいものを食べたいですね。今年も昨年に引き続き大人の学び舎では和の会の皆様にご指導いただきながら味噌づくりの会を開催し一人7kgの味噌作りに挑戦しました。味噌を仕込んだ後はみんなでティータイム。おしゃべりもして交流も図りました。半年後、出来上がりが待ち遠しいですね。



(自主企画事業 総務部)

# 第6回

参加者48名

# 伊野ふるさとかるた大会

やって未来こい!ネット教育部会と青少年育成協議会の共催により伊野ふるさとかるた大会を児童館にて開催しました。2名1組のチーム戦。親子や兄弟・姉妹、仲良しのお友だちと前回大会より参加選手が増え、12組24名の参加がありました。膝の上に手を置き、読み札をしっかりと聞いて、



ゆかいなファーストJKチーム

「はい!」と元気づけ絵札に飛び込む参加選手の皆さん。ファインプレーには会場から驚きの声や拍手が沸き起こりました。応援にもたくさんの方々に来ていただき、大会がとても盛り上がりました。

参加者の皆さま、ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。



# 環境バスツアー 3/7 参加者20名

～花の郷とエネセンへいこう～

環境バスツアーと題して市内の施設を見学しました。新エネルギーセンター(可燃ゴミ処理施設)ではビューティフル出雲の動画やごみピット内部、制御室などを見学し、環境に優しい安全安心な施設であることがわかりました。また、トキ分散飼育センターでトキを観察、その後、しまね花の郷ではクリスマスローズやチューリップ、ピオラなどを観賞しました。どれも身近にある施設ですが初めて訪れたという方も多くあり、環境について楽しく学べる良い機会となりました。(コミセン・環境推進協議会伊野支部)





# 地域とともに。人権研修会開催

伊野小学校の渡部秀文校長を講師に招き「地域とともに」と題して人権研修会を開催

1/23 33名参加

しました。渡部校長先生は自分の生い立ちや小学校での体験をもとに日々感じたことなどをお話くださいました。また、伊野小学校で実践している人権同和教育の取組にも触れ、教育が大事であることを述べられました。時代も日々変化



し、多様性が認められる世の中。私たち大人も変容していく世の中について研修会などを通してしっかり学ぶことが改めて重要であると感じました。合わせて参加者の皆さんへ人権啓発グッズ(メモ帳)も配布しました。今後もこのような研修会を継続していきますので皆さんどうぞご参加ください。

(伊野地区同和教育推進協議会)

## 防災研修会

あらき防災さんぽに参加

参加者7名

3/16

原子力災害が発生した際の伊野地区の避難先は荒木地区です。いざという時に備え年に1回荒木地区を訪れ交流を図っています。荒木地区では東日本大震災を機にあらき防災さんぽを実施。伊野地区災対のメンバーは荒木地区の皆さんと一緒に地区内を歩き、避難経路の確認や浜山公園内の施設を見学。コミセンではおにぎりや豚汁の炊出しをいただき交流を深めました。



## お詫びと訂正



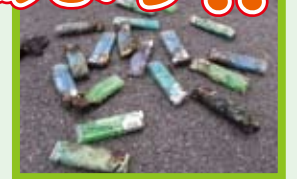
第72号コミセンだより「赤ちゃん紹介」にて西地合町内佐藤芽依さんを芽衣さんと表記しましたが、正しくは芽依さんでした。訂正し、お詫び申し上げます。

## 「道祖神」



西灘町内の池尻家(須山)宅の下にあります。近世以降穴道湖の北側街道の守り神として祀られてきました。全国的に同じ型をした柱の中に男女2体の像が彫られています。湖北では貴重なものです。(郷土史研究会 常松 土郎氏)

## ポイ捨てはやめよう!!



「緑色のライターが17個も落ちてたよ!!」「ポイ捨てゴミを減らしたい。看板を立てて欲しい!」そう言ってコミセンに駆け込んできた一人の小学生。彼は伊野小に通う6年生の男の子。なんと3年生の頃から誰に言われるでもなく自らゴミ拾いを続けています。彼は外で遊ぶのが大好き。特に生き物を捕まえたり観察したりするのが好きで写真も撮っていたそう。すると道路や川に落ちているゴミに目が留まり、自分の住んでいるまちをキレイにしたい、その思いから日々ゴミ拾いを続けています。一人一人がマナーを守ればポイ捨てゴミはなくなります。「ゴミはゴミ箱に」そして「ゴミをみつけたら拾う」。一人一人の心掛けでキレイな伊野を目指しましょう。

(環境推進協議会 伊野支部)



未来こい! ネット教育部会

## 伊野で子育てしませんか パンフレット完成

教育の魅力あふれるこの伊野地区でぜひ子育てをしてほしい。そんな願いを込めた伊野の魅力伝えるパンフレットが完成しました。ぜひ皆さんお手に取ってご覧ください。

小さな地域 小さな学校  
世界を考える 大きな人間に。  
伊野で子育てしませんか。



## 令和6年度 伊野地区の主な行事予定

- 伊野地区町内対抗  
ソフトバレーボール大会 6月16日(日) または23日(日)
- 伊野地区戦没者慰霊祭 9月8日(日)
- 地区民体育大会 9月29日(日)
- 伊野地区敬老会 10月6日(日)
- 伊野地区文化祭 11月3日(日)

※現時点での予定です。変更になる場合もあります。